

西日本新聞

ラウメン記者、九州をすすむ！
書店で好評発売中 ●出版部

2019年
1月16日
(水曜日)

い受無土境
ますけ料地界
付相問を
け談題を
てをのる

受付時間(平日)
10時~12時/13時~16時
福岡県土地家屋調査士会
調査士会 福岡 調査士会
www.fukuoka-chohokai.or.jp
福岡市中央区東区三丁目1-10-101号
TEL092-741-5884

きょう	あす
福岡	10 0 0 20
北九州	10 0 0 20
筑豊	10 0 0 20
筑後	10 0 0 20
佐賀北	10 0 0 20
佐賀南	10 0 0 20
長崎北	10 0 0 20
長崎南	10 0 0 20
壱岐対馬	10 0 0 20
熊本	10 0 0 20
阿蘇	10 0 0 20
大分	10 0 0 20
日田球	10 0 0 20
宮崎北	10 0 0 20
宮崎南	10 0 0 20
薩摩	10 0 0 20
大隅	10 0 0 20
沖縄	50 60 60 70
山口	10 10 10 20
大阪	10 10 10 30
東京	10 10 10 10

日本神経学会 水俣病国に浴う「見解」

意見照会受け 国賠訴訟証拠に

日本神経学会(東京)が、水俣病を巡る国家賠償訴訟で被告の立場にある環境省の意見照会を受け、異例の「見解」をまとめたことが分かった。水俣の摂取が終わってから発症するまでの期間など、訴訟で争点となっている3項目について、いずれも国側の主張を追認する内容。学会内で異論があるにもかかわらず、一部の研究者だけで見解を一方的にまとめた可能性があるとして、会員や原告側から批判が出ている。

「密室で議論」会員ら批判

見解はA4判4枚。昨年5月、「メチル水銀中毒症に係る神経学的知見に関する意見照会に対する回答」として、環境省特殊疾病対策室長宛てに出された。この中で学会は、神経系疾患である水俣病について①診断は神経内科専門医による神経学的診察が必要②中枢神経の器質的病変による症候は(短期的に)変動することはない③メチル水銀

学的だ」と指摘した。学会関係者によると、見解の作成は2017年からワーキンググループによって進められ、18年4月の理事会で承認された。学会ホームページでの公表も検討したが、社会的な影響を考慮し見送ったという。同学会事務局は取材に「国から

求められて見解を出した例は他にもある」と答えた。水俣病症候の変動性や発症時期については過去の訴訟でも争われ、司法判断は割れている。新潟水俣病を巡る訴訟で17年11月、東側主張をおおむね採用した。

訴訟でも争われ、司法判断は割れている。新潟水俣病を巡る訴訟で17年11月、東側主張をおおむね採用した。

約について「いかなる意思決定プロセスにも関与していない」と主張。支払いについては外部の調査チームが16年に発表した報告書に基づき「適切な対価」として結論づけている」とした。

約について「いかなる意思決定プロセスにも関与していない」と主張。支払いについては外部の調査チームが16年に発表した報告書に基づき「適切な対価」として結論づけている」とした。

五輪招致疑惑

竹田氏改めて潔白主張

2億円超「適切な対価」

2020年東京五輪招致を巡る贈賄の容疑者としてフランス司法当局から正式捜査を開始された日本オリ

竹田氏が理事長を務めていた東京の招致委員会がシンガポールのコンサルタン

竹田氏は昨年12月10日にパリでフランス当局の事情聴取を受けたことを認め「全ての質疑に答え、自らの潔白を説明した」と述べた。



大相撲の横綱稀勢の里は初場所3日目の15日、平幕栃煌山に敗れ初日から3連敗。昨年秋場所千秋楽から8連敗(不戦敗を除く)で、1場所15日制定着後の横綱で単独ワースト記録となった。

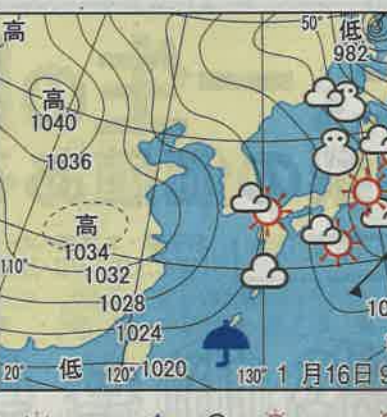
【17面に記事】

【28面に記事】

日本スポーツ賞の受賞者が、昨15日、贈呈式は同日午後、福岡市中央区天神のホールで開催します。同賞は、九州にゆかりがあり、優れた選手や団体、スポーツ界発

【16面に観覧募集要項】

【16面に観覧募集要項】



福岡限定 あまおう自家炊き鍋
おしよこ
20120860145
16日の九州は、昼ごろまでに伴う雲が広がるが、午後以降は晴れ。最高気温は8度と寒い一日。防寒対策を。

春秋
2019.1.16
「親類縁者であつても決して逃してはならない」。後の人、豊臣秀吉は、織田信長を厳密に調べるよう家臣に命じていた。税収は国の基盤。課税の基準となる。適切に正確に調査しなければ、信長の奉行時代から十分認識したのである。それは「太閤検地」なごつた。田畑の広さや作物の量を、位を全国で統一。都で使われていた。竹田氏を聴取し、「推定無罪」の原則を尊重しつつ、状況や中間搾取をなくしようと「納得」者がいれば、城主であろうと農民であつた。日本全国に申し付け、遠い地方も粗略にしてはならない。検地担当がなおざりにするな。自ら出掛けて命じるであらう。春宛てた手紙から秀吉の並々ならぬ決意がわかる。「なで斬りにせよ」としかねない厚労省の毎月労働統計。約15年間も誤った手法で調査し、給付金や労災保険を延べ約2千万人